

147億3,669万円

市長より平成18年度当初予算が提出され、審議の後、可決された。一般会計歳入歳出予算の内容はグラフのとおりである。

歳入のうち自主財源は17%であり、市税は住民1人あたり約7万2500円である。それに対し住民1人あたりに使う金額は約49万1200円であり、地方交付税等への依存度は極めて大きい。



改築される大宮小学校

旧町村合計
前年度比
14.7%増、大宮小改築に6億4297万円

十八年度当初予算は合併前の旧三町村の前年度当初予算合計額との比較で一四・七%（十八億九千二百万円）の増である。新規事業は極力行わず、継続事業に重点を置き、旧三町村の意見を酌んだ予算編成となっている。歳入は、市税など自主財源が四十一億八千五百二十二万円（構成比二八・四%）。地方

交付税など依存財源が百五億五千四百四十七万円（構成比七一・六%）である。歳入不足を補うため、財政調整基金から八億四千八百九万円を取り出す。全基金の残高は約三十二億円の見込みとなった。歳出は、人件費など義務的経費が七十一億五千七百七十六万円

（構成比四八・六%）。普通建設事業費など投資的経費は二十三億四千五百四十四万円（構成比一五・九%）である。主な新規事業は、大宮小学校改築工事に六億四千二百九十七万円、鏡野中学校プール用地購入事業に五百万円、庁舎建設基金積立金に三億円などである。

平成18年度特別会計予算

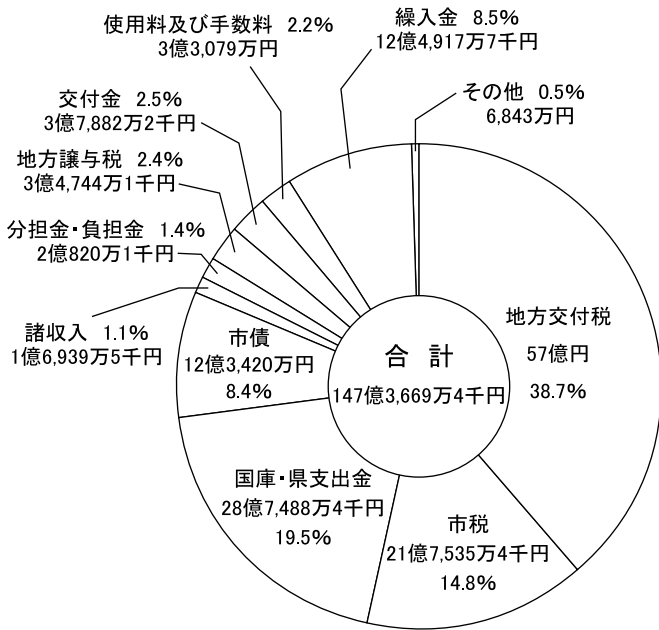
会 計	当初予算額
住宅新築資金等貸付事業	8,392万5千円
簡易水道事業	3億9,161万4千円
水道事業	2億3,182万3千円
工業用水道事業	1,855万1千円
公共下水道事業	5億7,098万6千円
特定環境保全公共下水道事業	2億4,790万8千円
老人保健	56億4,563万3千円
国民健康保険（事業勘定）	38億3,583万8千円
介護保険（保険事業勘定）	25億7,931万1千円
介護保険（サービス事業勘定）	1,683万4千円

平成18年度 当初予算

どう使われる

一般会計当初予算

歳入



地方交付税

地方公共団体が、等しく自主的に行政運営ができるよう、経費の不足分を国が交付する

市債（地方債）

必要な財源の借入金

公債費

市債を定められた条件により支払う経費で、元金の償還および利子の合計

物件費

人件費・扶助費・補助費等・維持補修費以外の消費的性質の経費

補助費等

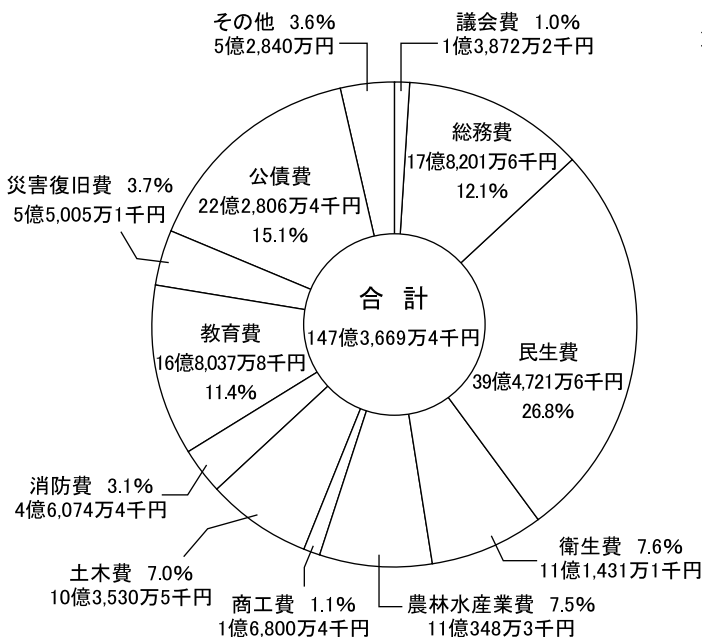
目的・根拠・対象により非常に多岐にわたっており、負担金補助および交付金等がある

扶助費

生活困窮者・身体障害者等に対し支出される経費で、生活保護法に基づくものが多い

歳出

目的別分類.....歳出の中身を行政の目的ごとに分類したもの



性質別分類.....歳出の中身を経済的性質に基づいて分類したもの

